

第28期第3回理事会議事録

日時：1995年5月15日 17時00分～20時40分

場所：気象庁内予報部会議室

出席者：松野、関口、磯部、大西、小倉、斉藤、里村、竹内、永田、中村、新田、原田、廣田、木田、菊地、白木、田中（浩）、佐橋、高橋、石島
以上理事20名および岩崎監事

オブザーバー：佐野（東京管区気象台長）、近藤（気象庁海上気象課長）、加藤（東京管区気象台調査課長）以上3名

議事：

1. 第28期第8回常任理事会議事録の確認
一部修正のうえ承認。

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用依頼4件を承認。

第17回レーザーセンシング・シンポジウム協賛（計測自動制御学会等主催，95年10月，蒲郡市）

第21回リモートセンシング・シンポジウム協賛（日本海洋学会等主催，95年12月，習志野市）

第42回風に関するシンポジウム共催（計測自動制御学会リモセン部会主催，95年10月，東京都中野区）

第12回エアロゾル科学・技術研究討論会共催（日本エアロゾル学会主催，95年8月，八王子市）

- ・春季大会講演予稿集に落丁があり，全部の再印刷，主要機関向け再発送，大会会場での交換を業者の責任で行う。それ以外の購読会員には『天気』5月号にお詫びと交換手順のお知らせを掲載し，これも業者の責任で交換させる。

天気…5月号の内容及び6，7，8月号の予定を報告。

- ・和達氏追悼特集は予定した原稿がすべて集まり著者校正中。

気象集誌…特別号・特集号の発行予定，ELSEVIERとの協議状況，国際的な科学データベースへの登録の働きかけなどについて報告。

研究ノート…編集委員会を5月15日に開催。6月初旬に「乾燥地の自然環境」を発行する予定。

講演企画…「冬の学校」の詳細報告が寄せられたの

で，その概要を『天気』に掲載する。

- ・秋季大会の講演申し込み締め切りは8月23日を予定。

総合計画…地球惑星関連学会の動きに関係して，流体地球関連学会間の連携をどのように取っていくかについて気象学会の考え方をまとめた。総合計画担当理事で相談したい。

教育と普及…『天気』の「気象談話室」は地方支部の協力も得て継続して掲載。

- ・夏季大学の申し込み数は順調に増加中。
- ・『教養の気象学』の改訂問題は，担当委員の通読が終わり，大幅改定を支持する委員が多い。5月24日の委員会で議論する。

各賞…民間団体の研究表彰・研究助成制度の一覧表を作成し，全理事に送付して候補者推薦を依頼したが推薦は来ていない。今後は学会賞と藤原賞の担当理事の協力で推薦活動を行う。これに関連して推薦承認手順について質問があり，理事会として議論。学会賞などのような全理事による承認投票は行わず，担当理事からの常任理事会への選考経過報告にとどめる。

パソコン通信…4月のアクセス回数308回。

- ・学会 BBS のインターネット接続問題について検討していきたい。

3. 会員の新規加入等について

個人38名，団体1の入会を承認。個人1名の退会を報告。これにより，95年度総会の成立に関わる通常会員数は3945名に確定。

4. 第10回国際大気電気学会について

経過等について菊地理事から説明を受け，理事会として後援の形態や気象学会からの拠出額について討議。「協賛」よりは「共催」が望ましいこと，援助額は今後常任理事会で詰めていくことが確認された。この種の会合を気象学会が援助する基準について理事会として議論し，IAMAS のなかの国際委員会が主催していること（今回は ICAE）が気象学会が補助するための基準になると確認された。

5. 1995年度総会提出資料について

一部のミスを修正したうえ総会に提出することを承認。

6. 春季大会, 秋季大会の担当機関について

96年春季大会は東京大学, 秋季大会は中部支部,
97年春季大会は筑波地区の担当とすることを決定。

7. 常任理事の交代について

4月の異動に伴い, 藤谷常任理事に代わって白木理事を常任理事にすることを承認。藤谷理事が担当していた『天気』編集は, 関口理事の担当とすることも承認。

8. 名誉会員推薦基準および手順について

今総会に4名の推薦を提案することを決めたが, もう数人の追加推薦を行うため, その基準を含めて検討する臨時的な委員会を理事会の下に設けたいとの常任理事会提案について討議。一部の理事からは「従来の趣旨に沿うなら, 名誉会員は学会員の大部分がその人の功績をよく知っている人が適当で, 今回の4名の追加で当面は十分」との意見も出された。追加推薦を行うかどうかも含めて関口理事を中心に庶務担当理事等も加わって検討することにする。

9. 「気象科学事典」の企画への対応方針について

東京書籍の提案について討議。学校の図書館や先生を主な購買者と位置付けた企画のようであり, 一連の「〇〇科学事典」シリーズのひとつでもあるようなので, 教育現場に影響力があると考えられることから, 気象学会も前向きに対応した方がよいとの意見が多く出された。次回の常任理事会で気象学会の窓口担当者を決定し, 東京書籍と協議することにする。

10. 学会賞における連名論文の評価基準について

学会賞候補者推薦担当の廣田理事の問題提起を受けて討議。個人でなく研究グループに対して学会賞を授与することの是非などについて意見交換を行った。今後は具体的な事例が生じたときに改めて議論することとする。

11. 次回理事会の日程について

理事長が出席可能な秋季大会開始前日の10月15日14時から開催することにし, 担当の関西支部と相談する。

第8回 IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

日時: 1995年9月18日(月) 13:00~17:00

場所: 名古屋大学大気水圏科学研究所

参加費: 無料

招待講演:

1. 萩原 秋男 (名古屋大・農学部)
(演題未定)
2. 青木 周司 (東北大・理学部)
「炭素同位体及び酸素濃度を用いた CO₂
のグローバル循環の評価」

一般講演: 未定

上記の日程で第8回のGAIM研究会を開きます。今回も招待講演と一般講演を行う予定です。地球圏と生物圏との間の相互作用を主にモデルを用いて研究されておられる方の発表を募集いたします。希望者は8月末日までに演題を添えて下記にお申し込み下さい。

申込先: 〒305 つくば市天王台1-1-1
筑波大学・生物科学系
及川・武久

(TEL & FAX) 0298-53-6661